

## ○庁舎建設基金条例

制 定 平 15. 12. 22 条例 4

**第 1 条** この組合は、この条例の定めるところにより、庁舎建設費に充てる目的をもって毎年度基金を蓄積する。

**第 2 条** 次の収入は、これを基金として蓄積する。

- (1) この基金より生ずる収入
- (2) 費途の指定がない寄付金

**第 3 条** 前条のほか、毎年度予算をもってその必要額を蓄積するものとする。

**第 4 条** 次の各号の 1 に該当する年度においては、組合議会の議決を経て前 2 条の蓄積を停止し、又は減少することができる。

- (1) 組合債を起した年度からその償還を終るまでの年度
- (2) 臨時に多額の費用を要する年度

**第 5 条** この基金は、郵便貯金、銀行預金、金銭信託、公債証券その他管理者において確実と認める有価証券又は不動産をもって管理する。

**第 6 条** この基金は、組合財政の都合により、組合議会の議決を経て繰り戻の方法を定め、組合の会計に繰り替え運用することができる。ただし、同一年度内における一時繰り替えについては管理者限りでこれをなすことができる。

2 前項の場合においては、管理者において適当と認める利子を付するものとする。

**附 則** (平 15. 12. 22 条例 4)

この条例は、公布の日から施行する。